明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

参考１）入札方法

⑴　入札はＩＣカードによる電子認証により、オンライン上にて行います。（入札への参加には、ＩＣカードおよびＩＣカードリーダーが必要となります。）

⑵　再商品化の入札・選定は、運搬事業者と、事業者登録を完了した再生処理事業者とのジョイントグループを単位として、市町村の保管施設ごとに行います。（ただし、再生処理事業者が運搬も行う場合にはこの限りではありません。）

⑶　このため、運搬事業のみの受注を希望する方は、事業者登録を受けた再生処理事業者と調整のうえ、ジョイントグループを形成する必要があります。この場合、再生処理事業者がジョイントグループを形成する際の運搬事業者選定の準則は、後掲の「参考２）運搬事業者とジョイントグループを形成する際の準則」のとおりです。

⑷　紙製容器包装の再商品化においては、複数の再生処理方法を組み合わせて再商品化を実施する場合、再生処理の組み合わせを形成する全ての事業者間でジョイントグループを形成することが必要になります。

⑸　プラスチック製容器包装について、白色トレイとそれ以外のプラスチック製容器包装の双方で別々に分別収集を行い、同一の保管施設に保管する場合でも、白色トレイとそれ以外のプラスチック製容器包装とは個別に入札を行います。

参考２）運搬事業者とジョイントグループを形成する際の準則

再生処理事業者は、以下の事項にもとづいて運搬事業者とジョイントグループを形成してください。

なお、保管施設からの引き取り運搬だけでなく、各再生処理事業者間の運搬を行う事業者もジョイントグループを形成してください。単独事業者で再商品化を行う場合は、この限りではありません。

⑴　運搬事業者が以下の条件を満たしていること

①　４素材の容器包装の運搬に共通の事項

(ｱ)　価格が公正かつ適正であること。
(ｲ)　常時連絡可能な連絡先を有していること。
(ｳ)　積み込み用機材（フォークリフト、ショベルローダー等）が操作できること。
(ｴ)　市町村等の依頼に応じて、２週間以内に引き取り・運搬が行われること。
(ｵ)　契約期間中の引き取り・運搬業務が保証されること。
(ｶ)　法施行令第９条に定める基準に合致すること。

②　ガラスびんの運搬に特有の事項

(ｱ)　ガラスびん再生処理事業者への運搬は、ガラスびん以外の土石、鉱さい等異物の混入の恐れがある車輌で運搬しないこと。

③　ＰＥＴボトルの運搬に特有の事項

(ｱ)　無蓋車の場合は、飛散対策が講じられること。

④　紙製容器包装の運搬に特有の事項

(ｱ)　無蓋車の場合は、飛散対策が講じられること。
(ｲ)　雨水対策が講じられていること。

⑤　プラスチック製容器包装の運搬に特有の事項

(ｱ)　無蓋車の場合は、飛散対策が講じられること。
(ｲ)　雨水対策が講じられていること。

⑵　その他運搬事業者に対して考慮すべき、運搬に共通の事項

(ｱ)　価格
(ｲ)　積載トン数別の車輌保有台数（専用車輌台数、兼用車輌台数等）、形式（平ボディー、ダンプタイプ等）
(ｳ)　入札対象となる容器包装の引き取り・運搬業務を実施した経験の有無
(ｴ)　入札対象となる市町村において一般廃棄物等の運搬もしくは許可を受けてその業務を実施した経験の有無

ジョイントグループにより入札に参加する際には、当協会が本準則の遵守状況等について確認します。

合併公告

左記会社は合併して甲は乙の権利義務全部を承継して存続し乙は解散することにいたしました。

この合併に対し異議のある債権者は、本公告掲載の翌日から一箇月以内にお申し出下さい。

なお、最終貸借対照表の要旨は左記のとおりです。

平成二十七年七月一日

東京都港区南青山六丁目六番二二号
（甲）株式会社ビバリウム
代表取締役　齋藤　　裕

東京都港区南青山六丁目六番二二号
（乙）オープンブック株式会社
代表取締役　齋藤　　裕

第16期決算公告　平成27年７月１日

東京都港区南青山六丁目６番22号
株式会社ビバリウム
代表取締役　齋藤　　裕

貸借対照表の要旨（平成27年３月31日現在）

科目		金額(千円)
資の産部	流動資産	132,542
	固定資産	297,419
	資産合計	429,961
負純資産債及のび部	流動負債	86,945
	固定負債	162,390
	株主資本	180,626
	資本金	10,000
	資本剰余金	10,000
	資本準備金	10,000
	利益剰余金	337,118
	その他利益剰余金	337,118
	（うち当期純損失）	(14,608)
	自己株式	△176,492
	負債・純資産合計	429,961

第４期決算公告　平成27年７月１日

東京都港区南青山六丁目６番22号
オープンブック株式会社
代表取締役　齋藤　　裕

貸借対照表の要旨（平成27年３月31日現在）

科目		金額(千円)
資の産部	流動資産	10,460
	固定資産	43,208
	資産合計	53,669
負純資産債及のび部	流動負債	50,505
	固定負債	86,650
	株主資本	△83,485
	資本金	9,950
	資本剰余金	9,950
	資本準備金	9,950
	利益剰余金	△103,385
	その他利益剰余金	△103,385
	（うち当期純損失）	(49,066)
	負債・純資産合計	53,669

合併公告

左記会社は合併して甲は乙の権利義務全部を承継して存続し乙は解散することにいたしました。

この合併に対し異議のある債権者は、本公告掲載の翌日から一箇月以内にお申し出下さい。

なお、最終貸借対照表の要旨は左記のとおりです。

平成二十七年七月一日

大阪市西成区天下茶屋三丁目二二番一二号
（甲）株式会社天一
代表取締役　河　　鳳基

大阪市阿倍野区天王寺町北二丁目一番四号
（乙）株式会社天一
代表取締役　河　　鳳基

第９期決算公告　平成27年７月１日

大阪市西成区天下茶屋三丁目22番12号
株式会社天一
代表取締役　河　　鳳基

貸借対照表の要旨（平成26年10月31日現在）

科目		金額(千円)
資の産部	流動資産	467,942
	固定資産	430,769
	繰延資産	2,891
	合計	901,603
負純資産債及のび部	流動負債	260,005
	固定負債	540,060
	株主資本	101,537
	資本金	47,200
	資本剰余金	25,138
	資本準備金	25,138
	利益剰余金	29,199
	その他利益剰余金	29,199
	（うち当期純利益）	(23,007)
	合計	901,603

第２期決算公告

平成27年７月１日

大阪市阿倍野区天王寺町北二丁目１番４号
株式会社天一
代表取締役　河　　鳳基

貸借対照表の要旨
（平成26年10月31日現在）　（単位：千円）

科目		金額
資の産部	流動資産	79,943
	固定資産	271,838
	合計	351,781
負純資産債及のび部	流動負債	721,128
	株主資本	△ 369,346
	資本金	2,000
	利益剰余金	△ 371,346
	その他利益剰余金	△ 371,346
	（うち当期純損失）	(69,864)
	合計	351,781

発行所　〒一〇五―八四五五　東京都港区虎ノ門二丁目二番五号　独立行政法人国立印刷局　電話　03(3587)4294
定価　一ヵ月一、六四一円（本体一、五二〇円）　本号一部一、一〇円（本体一、〇四〇円）　（配送料別）